

大型中継センター「(仮称)佐川急便九州中継センター」着工

SG ホールディングスグループにおいて不動産の賃貸・管理・開発事業を展開する SG リアルティ株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:栗和田武、以下「SG リアルティ」)は、福岡県糟屋郡において「(仮称)佐川急便九州中継センター(以下「本施設」)の起工式を 10 月 29 日に執り行い、11 月 1 日に着工しましたのでお知らせします。竣工は 2027 年 5 月を予定しています。



本施設の外観イメージ(今後変更となる可能性がございます。)

■本施設のスペック

① 福岡 IC 至近、九州全域へ好アクセス

本施設は、九州自動車道「福岡」インターチェンジ至近に位置し、福岡市内や九州全域へのアクセスに優れ、広域の物流ネットワークのさらなる効率化が可能です。

② 南北のトラックバース、大型駐車場を設置

本施設は、佐川急便株式会社(以下「佐川急便」)の新たな中継センターとして開発します。1階のトラックバースは建物南北の両側に設置し、最大で 117 台の大型トラックが同時接車可能であり、さらに 185 台の大型駐車場を設けることで、幹線輸送の効率的なオペレーションを実現します。

③ 快適な施設空間

本施設内に充実した休憩スペースを設けるなど、ドライバーや倉庫内のスタッフの労働環境を改善するとともに、快適性も考慮した施設となっています。

④ 環境に配慮した施設計画

本施設の屋根には、自家消費型太陽光発電設備を設置し、発電した電力を施設内で使用することで、CO₂排出量の削減と電力コストの低減を実現します。また、環境認証として、CASBEE Aランク(予定)、ZEB ready(予定)の取得を目指すなど、建物の省エネ性能を最大限に高めるとともに、エネルギー消費量の削減を実現します。あわせて、Low-Eガラス、全館LED照明、雨水流出抑制施設を採用するなど、環境負荷の低減に配慮した施設計画としました。

⑤ 災害対策を備えた設備

本施設には、72時間の稼働を可能にする非常用発電設備を設置し、災害時でも事業継続を可能とするBCP(事業継続計画)に対応した施設としました。

■本施設新設の効果

本施設の新設により、既存の4拠点と2拠点の一部を集約します。これにより、中継業務の効率化を図り、積載効率の改善、トラック台数の適正化、それに伴うCO₂排出量の削減などの効果を見込んでいます。また、この集約により、トラックの待機時間や荷物の積み降ろし時間が短縮され、トラックドライバーや倉庫内のスタッフの労働環境の改善にもつながります。これらの取組により、九州エリアにおける物流ネットワークの最適化を実現します。

SGリアルティは、企業理念「ひと・まち・想いのながれを生み出し、あたらしい未来を創造するのもと、「不動産で、物流を強くする。」というブランドメッセージを掲げ、今後もお客様のニーズや社会課題に対応しながら、環境にも配慮した物流不動産開発を推進してまいります。

■施設概要

名称	(仮称)佐川急便九州中継センター
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田、大字津波黒 ほか
アクセス	九州自動車道「福岡 IC」より約 2.6km JR篠栗線「篠栗駅」より約 1.5km
敷地面積	66,853.43 m ² (20,223.16 坪)
延床面積	34,270.92 m ² (10,366.95 坪)
規模・構造	地上 2 階建て・S造
設計施工者	株式会社フジタ
着工	2025 年 11 月 1 日
竣工	2027 年 5 月(予定)
稼働開始	2028 年 6 月(予定)

今後変更となる可能性がございます。

※SG リアルティの物流不動産開発事業について

SG リアルティは、SG ホールディングスグループの不動産領域を担う企業として、グループの CRE(Corporate Real Estate:企業不動産) 戦略を積極的に推進する目的で、2007 年 8 月に設立されました。以来、グループのコアビジネスであるデリバリー事業やロジスティクス事業を支えるインフラ施設をはじめ、さまざまな事業用不動産の所有・管理を行ってきました。現在では、外部向け物流施設の開発・マネジメントに加え、再生可能エネルギー分野にも事業領域を拡大しています。

SG ホールディングスグループは、純粹持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

＜報道関係お問い合わせ先＞

SG リアルティ株式会社 経営企画部 広報担当

tel: 03-6704-5730 mail: sgr_keieikikaku@sg-realty.co.jp